

経営比較分析表

神奈川県 開成町

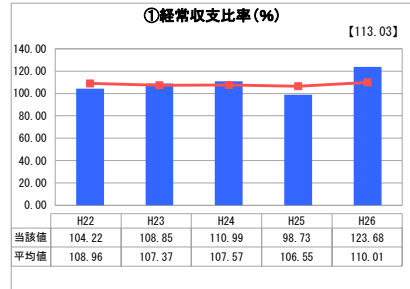
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A6
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	64.37	99.91	1,512

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,767	6.55	2,559.85
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
16,939	6.55	2,586.11

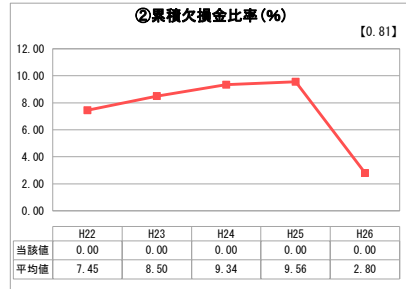
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

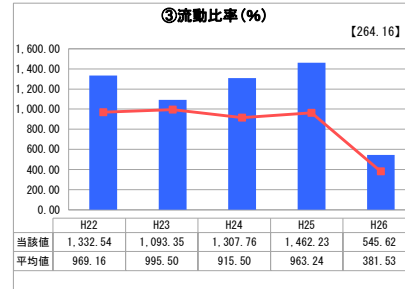
1. 経営の健全性・効率性



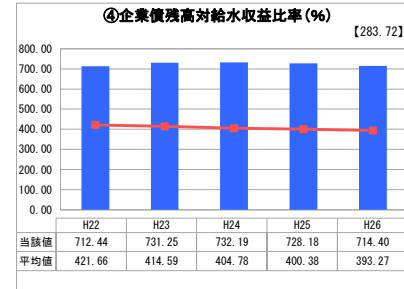
「経常損益」



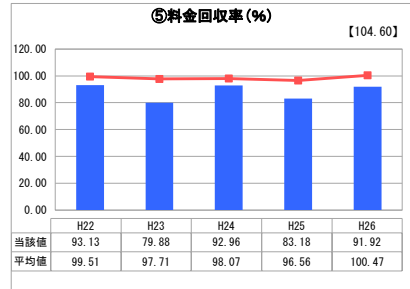
「累積欠損」



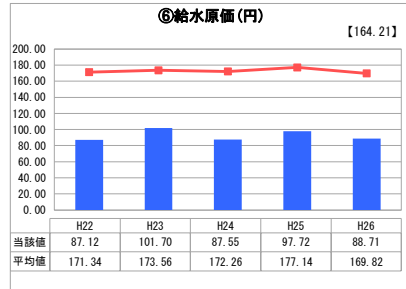
「支払能力」



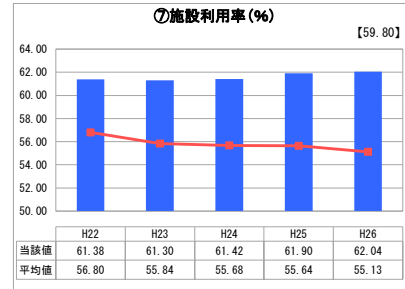
「債務残高」



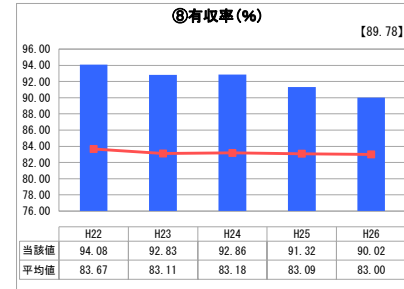
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

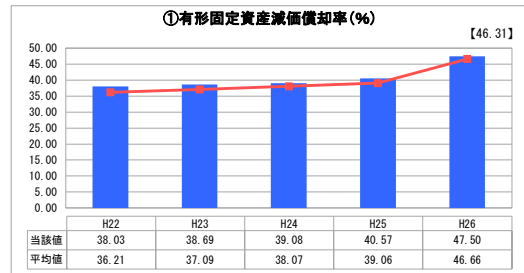


「施設の効率性」

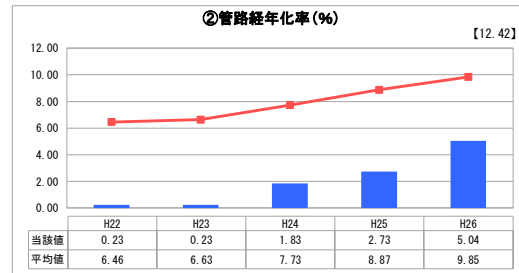


「供給した配水量の効率性」

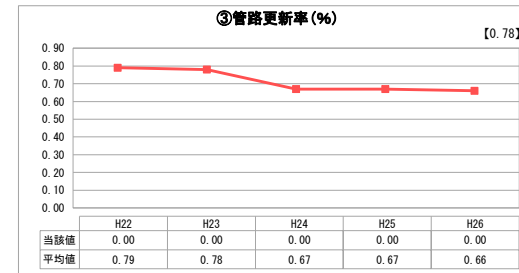
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率100%以上、累積欠損比率0%、流動比率100%以上であり、現状においては受託工事収益などの収入増もあり総体的な経営状況は良好です。しかしながら、企業債残高対給水収益収支率は類似団体内で高い水準となっていることや料金回収率が100%を下回ることなどから、経営の健全性の見直しを図るため、企業債の利用を制限し水道料金の改定を行う必要があります。また、有収率は類似団体内では高い水準となっているため引き続き効率的に配水できるよう漏水調査を行い対応を図っていきます。

2. 老朽化の状況について

管路経年化率の上昇により老朽化が進んでいます。計画的な管路更新事業は行っていません。現在、管路更新は漏水調査により見つかった該箇所となっています。今後、安定した配水、自然災害に備えた重要管の耐震化などを考慮して管路更新計画を策定する必要があります。

全体総括

施設の老朽化が進んでいることを踏まえ、管路更新を含む投資計画の策定や漏水対策等による維持管理費の削減に努めます。また、水道料金の見直しを行い料金回収率の改善を図るため、料金改定の検討を進めます。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。